

## 編集後記

この度初めて歯学部ニュースの編集委員を担当させていただきました。大変お忙しい中、原稿執筆にご協力いただきました先生方、学生さんに感謝申し上げます。歯学部ニュースには何度か寄稿させていただきましたが、多くの先生方、学生さんの力でこの1冊が完成していることを編集の立場から改めて実感することができました。微力ながらも歯学部ニュースの編集に携わせていただき、私個人としてもとても良い経験を積ませていただくことができました。誠にありがとうございました。

小児歯科学分野 中島 努

今回、初めて歯学部ニュースの編集委員を担当させていただきました矯正歯科の高橋です。編集に携わることで率直に感じたのは、歯学部ニュースの記事を読む事で後輩の方々のカリキュラム選択において大変参考になったのではないかという事です。実際に参加したプログラムの活動報告等はまさに生きた情報として読者の方に届くのではないかと考えております。最後に、様々な種類の原稿依頼をお願いしましたが、学生さん、研修医の先生達は皆一様に快く引き受けていただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。

歯科矯正学分野 高橋 功次朗

まず初めに、この度はお忙しい中、原稿執筆にご協力いただきました先生方、学生さんにこの場をお借りして感謝申し上げます。今回初めて歯学部ニュースの編集に携わせていただき、冊子ができるまでに多くの方の御尽力があることを改めて実感しました。編集業務を通じて、学生さんの部活動に対する熱い思いや充実した学生生活の様子をうかがい知ることができ、私自身、学生であった当時の事を思い出し、非常に感慨深い気持ちになりました。読者の皆様にも、活気溢れる歯学部の様子をぜひ感じていただければと思います。

生体歯科補綴学分野 江口 香里

このたび初めて歯学部ニュースの編集委員を仰せつかり及ばずながら参加させていただきました。暮れの忙しい時期に快く原稿を引き受けていただいた学生さんや先生方には心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

顎顔面口腔外科 小玉 直樹

歯学部ニュース令和元年度第2号(136号)の編集および取りまとめを担当させていただきました。編集を通じて、実に多くの方々の尽力によって歯学部ニュースが作られているということを実感しました。ご執筆いただきました原稿をいち早く拝読させていただく中で、歯学部ニュースは文字通り、新潟大学歯学部の今を伝える大切な情報発信源となっていると強く感じました。ご多忙にも関わらず、原稿をご執筆下さりました先生方、学生の皆様、そして編集に際し、多大なご尽力をいただきました諸先生方、事務の方、編集委員の諸先生方、(株)ウィザップの本間様には、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

病理部(歯科担当)・歯科病理検査室 丸山 智